

各地区業況アンケート結果（28年10月調査分）

（28年10月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

10月25日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ72名の回答があり（回答率47.7%）その結果が下記のとおりまとめましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 前年割れ約4割、前年増は約3割

問1】貴社の9月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	13	23	15	12	72	59
比率	12%	18%	32%	21%	17%	DI-11	DI-61
売上金額/前年同月比	8	10	23	15	15	71	58
比率	11%	14%	33%	21%	21%	DI-27	DI-52

2. 収益改善、黒字は約7割

問2】貴社の9月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	13	38	16	4		71	59
比率	18%	53%	23%	6%		DI+85	DI+29

3. 前月比は微増

問3】貴社の営業窓口から見て10月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	2	10	37	7	1	57	+9	+35
民間建設向	3	12	42	5	1	63	+17	+38
自動車向	1	4	30	1		37	+8	+28
その他需要家向	2	13	42	6	1	64	+14	+33
仲間取引	2	11	37	8	2	60	+5	+10
計	10	50	188	27	6	281	+11	+29
比率	3%	18%	67%	10%	2%			

4. 今後は微増程度と予想

問4】貴社における向う11月から来年1月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	2	38	24	6	2	72	59
比率	3%	53%	33%	8%	3%	DI +44	DI +78

5. H形鋼は若干不足気味に

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	品種別	A	B	C	D	E		10月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-38	-48	-46	-36	-39	-48	-32	-13	-28	-32	-27	-30	鉄筋用丸鋼		1	25	7	1	34	-24
-23	-23	-28	-21	-30	-21	-30	-21	-23	-15	-15	-15	構造用丸鋼			32	5		37	-14
-10	-14	-30	-12	-15	-22	-23	-11	-21	-11	-12	-8	平角鋼		2	32	3		37	-3
-27	-25	-17	-10	-22	-10	-34	-7	-16	-9	9	4	H形鋼	1	6	28	2		37	16
-23	-24	-33	-26	-47	-50	-57	-26	-38	-19	-14	0	コラム		5	17	4		26	4
-16	-30	-28	-13	-17	-19	-28	-12	-19	-10	-8	-10	小形山形鋼	1		36	4	1	42	-10
-19	-24	-28	-19	-17	-21	-30	-15	-22	-17	-18	-16	中形山形鋼		4	31	6	1	42	-10
-23	-24	-25	-27	-21	-18	-30	-21	-29	-18	-24	-7	溝形鋼		3	30	7		40	-10
-28	-28	-27	-25	-25	-37	-46	-64	-36	-22	-19	-19	軽量形鋼C形		1	29	4	1	35	-14
-40	-32	-57	-29	-44	-44	-32	-32	-33	-17	-28	-22	軽量形鋼広巾			20	5		25	-20
-57	-62	-40	-52	-58	-52	-62	-41	-55	-43	-44	-33	冷延薄板			24	7		31	-23
-55	-61	-33	-33	-59	-41	-36	-35	-40	-35	-29	-20	熱延薄板		1	29	6	1	37	-19
-48	-59	-32	-44	-62	-53	-62	-46	-50	-53	-34	-27	表面処理鋼板		1	27	7	1	36	-22
-62	-56	-42	-57	-69	-61	-63	-45	-48	-48	-29	-27	酸洗鋼板		1	27	7	1	36	-22
-49	-58	-44	-38	-63	-54	-47	-32	-30	-23	-22	-24	中板		1	32	9	1	43	-23
-44	-38	-30	-29	-57	-44	-44	-27	-16	-21	-20	-24	厚板		1	32	9	1	43	-23
-17	-14	-22	-18	-25	-31	-15	-11	-11	-4	0	-13	極厚板		2	17	3		22	-5
-25	-23	-35	-30	-22	-29	-25	-30	-11	-21	-17	-14	縞板		1	32	5		38	-11
-34	-36	-34	-33	-32	-38	-41	-32	-28	-26	-24	-22	中径角			31	9		40	-23
-25	-21	-32	-14	-19	-29	-33	-25	-33	-26	-17	-12	ガス管黒			34	7		41	-17
-19	-20	-31	-20	-24	-26	-31	-27	-23	-31	-25	-16	構造用鋼管			33	6		39	-15
-33	-35	-33	-27	-38	-35	-38	-28	-28	-24	-20	-17	計	2	30	598	122	9	761	-14

6. 小口商売中心、価格転嫁は困難

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。（答え）

北海道	A	大型案件は遅れもあるが、動き出している。しかし、店売り販売の低迷が続き、長期化している。メーカー値上げ、中央相場の回復基調が聞こえ始めている。今後、価格アップができるかが問題である。
	B	全体的な工事の行き渡りから、後半に向けて資材の荷動きは鈍くなると思われる。スクラップも下向いており、価格維持が気に掛かる。
東北	A	小口商売（1トン以下）の増加が目立つ。一次加工も急に忙しくなってきた。但し、短納期が増加している。
	B	県内の製造業の盛り上りが乏しく、建築需要以外は不振である。高炉は値上げを発表しているが、電炉はむしろ値下げに向かっている。客先もあわてて購入する状況ではなく、当用買いに徹している。依然、タイト感もなく価格動向は不透明である。
	C	秋需の気配なし。経済省の第3四半期の需要見通しで、底を脱し回復傾向とのことだが、当地区の実感はない。鉄筋マーケットは、依然、膠着状態が続いており、好転の兆しがない。たまに出てくる大型案件は4万円際の超安値での成約で市況の足を引っ張っている。
	D	物件が小ロットになってきている値上げどころか値下げになっているのではないか。
	E	全体的には盛上りに欠けた9月前半だが、後半から急に一次加工の依頼(注文)が増加した。特に商社からの注文が増加した。
新潟	A	高炉メーカーは強気だが、市況（需要）はいまひとつである。
	B	車、建機、地場産品ともまだまだ低調。僅かだが秋需らしきものが出てきた。
	C	建築（鉄骨）に多少の明るさがあるものの、建築金物工事、階段、手摺りの単価アップに繋がらない。総じて盛上りに欠け、単価が上る要素はない。
	D	ようやく市況も底をついたと思われる。今後、メーカー値上げ等で、市況の好転に期待する。
	E	新潟県知事選挙で、保守系候補が敗北。新潟県にとってさらに逆風になることが心配である。
	F	季節商品、自動車、建築金物は秋需入りで増加傾向だが、建産機は盛り上りに欠け、全般的には前年比微増である。Hグレードファブは首都圏案件を中心に1年先まで山積みを確認している。足元は動いているが、工程遅れなどで先の動きは不透明である。Mグレードファブは各社に濃淡はあるが、概して直近は小規模の短納期物件で繁忙である。一般製造業者は業種によって濃淡がある。全体的に盛上りに欠け低位横ばいである。市況は高炉値上げから下げ止まり、一部価格転嫁で反転ムードはあるが、先の高炉値上げも見え完全転嫁には時間を要す。
	G	10月は期待したほどではないが、仕事が出てきたように感じる。メーカーは値上げを表明しているし、ムードが変わってくればよいのだが。
東京	A	メーカー値上げを転嫁できず苦勞している。
	B	高炉メーカーが値上げを唱えていて、市中在庫も減少しているがその動きに逆行し、価格を下げて拡販するような動きがある。メーカー商社系の流通と見られる。高炉メーカーには自分の足元の流通から改善してもらいたい。
	C	需要動向は前月と比較して変化は見られない。メーカーは値上げを実行しているため価格転嫁に向けた動きをしなければならない。

東京	D	市況は下げ止まったと思われるが、その先の展開にならない。潮目が変わったと感じられるが実際の商売には現れていない。メーカーのしっかりとした対応が必要である。
	E	10月の受注、販売数量は僅かながら増加。加工、施工物件で対応しきれない図面が出回りはじめた。仕入先は本気で値上げ交渉に動きはじめた。
	F	(鋼管)土木関連は徐々に上向いているが、建築関連が弱く配管類は低調。
静岡	A	景気の停滞感が一層鮮明になっている。仕入値上げ、販価未転嫁で儲けるタイミングを逸する流れとなっている。上期発注の公共土木工事が動き出すのを期待している。
	B	建築物件は来年に向けて少しずつだが、動きが出るだろう。産機は相変わらず低調のままである。
	C	大手ファブは順調に量を消化しているが、遅延気味のムードは継続している。年末年始辺りも懸念している。材料発注も安定供給の先に完全シフトされている感がある。条鋼類の価格対応は各社後出しジャンケンムードである。「上げは遅く下げは早く」には変わりなく待ったなしの状況である。我々クラスは具体的なデマンド情報がすべてだが大所、高所での情報を得よう努力が必要である。幸い不良債権絡みはないが、信用調査情報誌に業界関連が増加している。一次加工の流通は各社多忙である。
石川	A	高炉メーカーの値上げアナウンスで特に薄板関連が戻る気配だが、どこまで戻せるか。販売店としては様子見の半身の構えで基調としては強気になれない。土木入札が増えてきたが、鉄の真水分は少ない。建築物件は店舗物が多く、地場コンの受注合戦になりつつある。下請けとしては安い指値に応じざるを得ない弱い職種も現れてきた。
	B	現状、各メーカー値上げの要望に対しては、漸く同業者間においてユーザーに申し出する機運が高まりつつあるものの今までの姿勢では客先から現状維持で押し切れる可能性が大である。即ち我々が値上げ分を吸収するしかない立場にわかれ、収益の悪化に繋がることは必要だと言える。メーカーも流通も不退転の決意で望まねば、掛け声倒れに終りかねない。
福井		(土木)北陸新幹線工事は橋梁、高架橋5工区が、今年中に入札がある。動き出すのは来年後半からである。大野油坂道路、荒島第1トンネル西勝原工区、原子力災害制圧道路・美浜第3トンネル、神野難波江トンネルは12月開札。来年以降、土木は忙しくなりそう。(建築)補助金が出る老人ホームや東安居団地E棟といった公共物件は少し見受けられるが民間の案件が少ない。冬に向けて厳しい状況が続くと思われる。
富山	A	需要が伸びない中、顧客への売込みが過熱気味。利益確保が難しい。
	B	地元索引役の医薬品、観光間も一服状態。中小物件が散見される。価格も機材、工賃ともに引っ張り合いが続きそうである。
愛知	A	現在の状況は景気の期待値からすると良くない。しかし、何とか下落しないように踏ん張っているというのが現状の姿である。いいところ、悪いところが斑状態である。自動車もそれなりに頑張っている。トヨタとスズキの提携に期待がかかる。先が楽しみというところか。ただ、価格の値上げが、これからどのように進展していくのが、これからの大きな問題であろう。
	B	自動車の燃費問題でS社の生産が大きくずれ込んでいたため下請・孫請企業への影響が大きく浜松から東三河地区のマイナス要因になった。事態は収束しているものの全体の雰囲気も悪く主要顧客から先行の見積りや受注の話も具体性がない。

愛知	C	9月中頃から少し秋需が出てきた。このまま年内秋需が続いてくれることを期待する。
	D	全般的な荷動きは前年同月を上回る状況であり、中小の建築案件では加工先の確保に苦労している。多くの鉄鋼メーカーが値上げを表明しているが、安値が消えた程度で本格的な価格転嫁はもう少し先になりそうだ。今は少しずつアナウンスを進めているが、取引先の抵抗は強い。
大阪	A	全体の荷動きはまずまずであった。業種別にみると明暗がある。家具、車は良い方で陳列、設備関係は良くなかった。陳列向けもピークアウトの感じで製品価格競争も厳しくなっているようだ。車関係も全体として下期は上期より増える見込みである。石炭の大幅値上げ、海外のメーカーも一万円位の値上げを表明しており、転嫁がどこまでできるのか。外注工賃(切断)が上ってきている。
	B	相変わらず中小物件中心で冴えない動きだが、どういうわけか9月は特に動きが悪かった。台風、雨天が多く工程の遅れが重なったためか。10月中旬に入り、漸く倉庫、工場、老人施設、アパートなどの中小物件も動き出してきた。さっぱりであった公共工事も小粒ながら、漸く物件が出てきた。
	C	需要期に入り、多少土木物件を中心に動いてきた感はあるものの全般的には盛上りに欠ける状況である。建築関係においても仕事を抱えているところとそうでないところと二極化している。市況については一部メーカーの値上げと在庫のタイト感で上伸に期待できる状況にあるが、あとは需要の回復が伴うかどうか。
	D	メーカー値上げの転嫁については、もう少し時間がかかりそうである。
岐阜		材料自体の荷動きは良いとは言えない。ゼネコンの下請けは忙しいところもあるが、産機、工作機械などは低水準である。少ない物件に対する安価競争も目立つ。価格維持は困難である。
広島		秋需への期待感は薄く、建築以外は物件の話も聞こえてこない。当地区主力の自動車も新車の動きが少なく先細りが懸念される。特に造船が早くも陰りが出始めているようである。今後の影響が心配される。
岡山		メーカーの生産不調により、市中在庫が減少してきた品種が出てきた。とはいえ、当地区で荷動きの変化はまだ見られず様子見状態である。潮目が変わりつつあるが、状況変化にはもう少し時間がかかりそうである。
北九州	A	メーカーの本格的な値上げで流通の販売姿勢にも変化が見られる。メーカー出荷も遅れが多発。船、トラックの手当て難で地方向けの入荷状況は悪く、在庫も減少し形鋼に歯抜けも散見。引合いは今ひとつで上値の上伸力は鈍いが下値追いは回避。徐々に売腰は強くなってきそうである。風向きが変わってきた。
	B	商売が依然低調な中、メーカーの値上げ姿勢が強いようだが、この状況下では需要家に対する価格転嫁は難しい。
福岡		9月は全体的に仕事の動きが続き、また、得意先の中でも二極化傾向であるように感じる。見積り引合いは20日以降から少しずつ増えてきているので、10月以降に期待したい。受注形態としては多品種少量で特に納期が厳しい。与信的なものは聞こえてこないが、しっかり仲間と情報交換していきたい。